

島根県ボウリング連盟

これまでのあゆみ

ボウリングは昭和40年代中旬頃、全国で爆発的に流行し、「手軽にできるスポーツ」として親しまれてきたほか、本格的な「競技スポーツ」としての位置付けも進み、昭和63年の京都国体から国民体育大会の正式種目に採用され、今日に至っている。

当連盟は昭和50年1月に「ボウリングの普及・振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与すること」を目的に発足、活動を開始し、これまでに多くの選手を全国大会や国民体育大会などに派遣したほか、平成7年には「第8回全国健康福祉祭(ねんりんピック)」、平成11年には「第8回全国知的障害者スポーツ大会(ゆうあいピック)」が当県で開催され、ボウリング競技の運営に携わってきた。

現在の状況

現在はボウリングブームが下火となり、競技人口が減少しているほか、県内各地域にあったボウリング場が利用者の減少や施設・設備の老朽化により相次いで閉鎖され、今や島根県内には数件しか残っていない状況となっている。

施設、設備の改修には多額の費用が必要なことから、今後、更なる競技環境の悪化が懸念されている。

これから

2030年には「島根かみあり国スポ」の開催が予定されているが、この機会をチャンスと捉え、ジュニア選手や女性選手を中心とした発掘、育成のほか、裾野を広げる活動を行い、ボウリング愛好者、更には競技者の確保に全力で取り組んでいく。



令和5年 島根アスリートキッズ競技体験会(しんじ湖ボウル)



令和5年 島根アスリートキッズ競技体験会(しんじ湖ボウル)



西日本ボウリング選手権大会